

静岡県の幼児教育の質の向上を目指して

わっ！ぴょん通信



発行・編集 静岡県幼児教育センター

新年度が始まり、2か月が過ぎました。各地域では、幼保小同研修会等を通じて作成された「架け橋期のカリキュラム」や「スタートカリキュラム」を手掛かりに、小学校1年生が新たな学びの一步を力強く踏み出していることと思います。

今年度も、静岡県幼児教育センター便り「わっ！ぴょん通信」では、幼保小の円滑な接続を実現するための各市町の実践を紹介していきます。今回は、御殿場市に発表を依頼しました。

御殿場市の幼保小接続の実践事例

こどものための架け橋プログラムじゃなくちゃ！

土台は一貫教育・御殿場市の取組

御殿場市では、40年以上前からの「中学校区一貫教育」の積み上げがあります。架け橋期のプログラムの推進に当たり、この一貫教育の積み上げの土台が役立ちました。

架け橋期のプログラムが、形だけでなく、こども本位で機能するためには、幼小の各担任・保育士・臨床心理士・小学校中学校が連携理解を深めて、こどものために同じ方向を向くことができるように努めています。実践の一部を紹介します。

年長さんが小学校訪問をして、次年度ペア学年になる5年生のこどもと交流したり、学校給食を一緒に食べたりして小学校を体験します。学校生活の細かいやり方も教わります。



5月、小学校1年生の入学後の参観及び情報交換会の実施。旧担任と新担任がこどもについて直接話す機会となります（それまでは間接引継ぎ）。旧担任は、転勤があってもこどもの進学先の情報交換会に参加します。10年以上続く御殿場市の重要事業です。



もちろん、ほかにも随時、園と学校の電話連絡、特別支援教育コーディネーターの園訪問観察、臨床心理士の園訪問なども続けています。今年度は各小学校のスタートカリキュラムの作成を目指しています。県版の資料、作成済みの原里小学校のデータを共有し、1年の実践の上、各校なりのものを作ります。

（御殿場市教育委員会学校教育課）

サポートチーム訪問支援事業《追加募集》のお知らせ（残り10枠）

【今年度の要請例】

- ・「こどもの人権と保育」をテーマにした60分間の講義・演習を園内研修でお願いしたい。（園）
- ・今年度初めて行う「幼保小合同研修会」の内容等を一緒に考えてほしい。（小学校区）
- ・各クラスの環境構成と保育者の援助について保育参観後にアドバイスしてほしい。（園）

【要請を希望する場合】

添付した申請書に必要事項を入力し、各市町幼児教育主管課（教育委員会）を通じて静岡県幼児教育センターに提出してください。提出期限は、令和8年6月19日（金）です。訪問期間は、令和8年8月下旬から令和9年1月末日までです。訪問希望日は、必ず第3希望まで記入してください。



【申請の流れ】

研修を希望する
園・市町・学校区
(幼を含む)

申請書
提出

市町 幼児
教育主管課

申請書
提出

静岡県 幼児
教育センター

講師派遣

園・市町・学校区主催
研修会にて 講義・演習等





都道府県協議会

～幼保小の学びの接続～



今年度は
小学校の実践発表もあります。
園の先生だけでなく、**小学校の先生の御参加も**

お待ちしております。



静岡県幼児教育推進
マスコットキャラクター
「わっ！びよん」

令和8年

●日時：9月8日(火) 10:30~16:05

●会場：グランシップ
(静岡市駿河区東静岡2丁目3-1)

オンデマンド配信

配信期間

令和8年9月18日(金)
~10月2日(金)

※実践発表と講演のみの配信となります。

日程

10:30	全体会
10:55	実践発表 ・ 島田市立島田第五小学校 ・学校法人島田中央学園認定こども園 島田中央幼稚園 ・ 島田市教育委員会
11:45	昼食・休憩
12:45	講演「幼保小の円滑な接続推進に向けた架け橋期の教育・保育の在り方」(仮) 武蔵野大学 教授 箕輪 潤子 氏
14:30	分科会 (情報交換・グループ演習) 「架け橋期のカリキュラム作成・実施について」 「幼児教育と小学校教育の学びの繋がり」

申込方法

①「Googleフォーム」での申込

下のURLまたは二次元コードよりお申し込みください。



Googleフォームでの申込は
こちらから

<https://forms.gle/GoSB7tNMGPQ1RfKq7>



②全国教員研修プラットフォーム「Plant」での申込

【申込締切：令和8年7月9日(木)】

分科会では、園の先生と小学校の先生が同じグループになり、情報交換を行ったり、こどもの姿で語り合ったりします。昨年度の感想からは、**主体的な学びについてのヒントが得られ、授業改善につながった**などの意見をいただきました。分科会の内容は、オンデマンドでは配信されません。顔を合わせて交流ができる貴重な機会ですので、ぜひ会場参加での参加をご検討ください！

昨年度は、秋をテーマに、園での秋みつけ遊びと、小学1年生の生活科の**学びの繋がり**について、**3つの資質・能力**を視点に、共通点や相違点を話し合いました。

～令和7年度の参加者の声～

決められた時数の中で到達目標を達成するために、授業を進めていく小学校の大変さが伝わった。

また、園での秋の遊びが、生活科以外に他教科とも関連していることがわかり、**幼児教育が、学びの基礎になっていることを改めて感じることができた。**

自信をもって保育をしていきたいと思った。

保育教諭



グループ協議では、改めて幼児教育で主体的な活動を重視していること、活動の中で子どもが自分で遊びを選択したり、友達と伝え合ったりすることを大事にしていること、そのために環境構成の工夫等を大事にしていることが伺えた。

小学校でも大事にしていることだが、改めて園との「つながり」を全教員が意識すること、**幼児期でどんな資質・能力を育ててきているのかを理解することが接続の一步だ**と思った。

小学校教諭

